

6. 履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) スポーツ文化・経営政策系列

系列		スポーツ文化・経営政策系列		
科目区分	科目群		条件・科目名	修得単位数
専門科目	領域科目		所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修	6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群		5～
		応用科目群	スポーツ文化・経営政策共通実習(1単位) 必修	7～
専門基礎科目	研究基礎科目		所属分野の研究方法論(1単位) 必修	1～6
基礎科目	自由科目		所属領域外の科目、所属系列外の科目、 所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基礎科目、指定の学群科目	0～6
		修了単位数		30～

＜修了要件＞

標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

＜備考＞

各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。

系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。

社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。

・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習
健康体力学特別演習
コーチング学特別演習

なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。

年度途中で修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) 健康・スポーツ教育系列

系列			健康・スポーツ教育系列		
科目区分		科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目		領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群		4～	12～17
		応用科目群		7～	
		関連科目群		1～	
専門基礎科目	研究基礎科目		所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目		所属領域外の科目、所属系列外の科目、 所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目、指定の学群科目		0～6
			修了単位数		30～
<修了要件> 標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。					
<備考> 各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。 系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。 社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。 ・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習 なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。 年度途中で修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。					

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) ヘルスフィットネス系列

系列		ヘルスフィットネス系列		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群		5～
		応用科目群	実験または実習科目(2単位) 選択必修	3～
			基礎ヘルスフィットネス演習、またはヘルスフィットネスインターンシップ(1単位) 選択必修	
	関連科目群		4～	
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属系列外の科目、所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～

＜修了要件＞

標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

＜備考＞

各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。

系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。

社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。

・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習
健康体力学特別演習
コーチング学特別演習

なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。

年度途中で修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) アスレティックコンディショニング系列

系列		アスレティックコンディショニング系列		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群	3～	13～17
		応用科目群	アスレティックコンディショニングインターンシップ(1単位) 必修 8～	
		関連科目群	2～	
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属系列外の科目、 所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～

＜修了要件＞

標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

＜備考＞

各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。

系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。

社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。

・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習
健康体力学特別演習
コーチング学特別演習

なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。

年度途中に修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) コーティング系列

系列		コーティング系列		
科目区分	科目群	条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目	所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群	トレーニング学(2単位) 必修 コーチング論(事例討議)(1単位) 必修	6～
		応用科目群	◎コーチング個別科目群 種目別コーチング総合演習(1単位) 選択必修 コーチングインターンシップ(1単位) 必修	2～
			◎関連マネジメント科目群	2～
		関連科目群		3～
専門基礎科目	研究基礎科目	所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目	所属領域外の科目、所属系列外の科目、 所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目、指定の学群科目		0～6
		修了単位数		30～

<修了要件>

標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

<備考>

各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。

系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。

社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。

・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習
健康体力学特別演習
コーチング学特別演習

なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。

年度途中で修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程

体育学学位プログラム(M) ナショナルリーディングコーチ養成系列

系列			ナショナルリーディングコーチ養成系列		
科目区分	科目群		条件・科目名		修得単位数
専門科目	領域科目		所属する個別研究領域の演習ⅠおよびⅡを含む全科目 必修		6～8
専門基礎科目	系列科目	基礎科目群	高度コーチングディスカッションⅠ(1単位) 必修 高度コーチングディスカッションⅡ(1単位) 必修 トレーニング学(2単位) 必修 コーチング論(事例討議)(1単位) 必修	5～	16～17
		応用科目群	◎国際性科目群 国際経験プレゼンテーション演習(1単位) 必修 日本文化論(宗教,思想,古典芸能など)(1単位) 必修 スポーツ指導者の英語実技(1単位) 必修 スポーツ指導者の英語実技実践(1単位) 必修	4	
			◎コーチング個別科目群 種目別コーチング総合演習(1単位) 選択必修 プログラム特別インターンシップ(3単位) 必修	4～	
			◎関連マネジメント科目群	1～	
		関連科目群		2～	
専門基礎科目	研究基礎科目		所属分野の研究方法論(1単位) 必修		1～6
基礎科目	自由科目		所属領域外の科目、所属系列外の科目、 所属系列科目・研究基礎科目で履修上限単位を超える科目 学位プログラム外の科目、大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目、指定の学群科目		0～6
			修了単位数		30～
<修了要件> 標準修業年限(2年)以上在学し、本学位プログラムが定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位(30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。					
<備考> 各科目群の指定範囲内で単位を修得しなければならない。指定単位以上修得しても修了単位に含めることはできない。なお、系列科目・研究基礎科目については、指定単位数以上修得した場合、6単位を限度に自由科目に振り替えることができる。 系列科目の各科目群の対象科目については、体育学学位プログラム教育課程冊子を参照のこと。 社会人特別選抜による学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習を履修することができる。 ・14条対応科目 体育・スポーツ学特別演習 健康体力学特別演習 コーチング学特別演習 なお、一般学生は、原則として14条対応科目を履修することはできない。 年度途中に修了する学生は、領域科目の個別研究領域の演習Ⅱの代わりに、所属分野開設の特別演習Ⅱを履修すること。					